

社協だより

よしかわ

〈発行〉
令和5年3月
芳川地区
社会福祉協議会

会長挨拶



芳川地区社協
支会長 松本 寿行

春の日差しも強くなり、ようやく過ぎやすい季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

日頃、芳川地区社会福祉協議会の活動にご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの活動機会が失われ3年が過ぎましたが、ようやくインフルエンザなどと同じ5類の感染症として扱われるようになることが決まりました。

今後、縮小や中止を余儀なくされた社会福祉協議会の各事業は、地域福祉の促進、高齢者福祉の推進、地域づくりの推進

を行うために、皆様のご意見を得ながら計画を立て実施していきたいと考えていきます。

地区の社会教育、社会体育、生涯学習、仲間づくりの場としての施設も充実しています。皆さん大いに活用しましょう。

また、芳川地区2館目の福祉ひろばが村井町の「イオンタウン松本村井店」2階に「こどもプラザ」と併設で、この7月にオープンします。福祉ひろば事業に参加し、仲間づくりの輪を広げてみませんか。

芳川地区社会福祉協議会は、各施設を利用した事業や皆さんが健康で楽しく、笑顔あふれる暮らしができるような活動に取り組んでいきます。今後とも一層のご支援、ご協力をお願いします。

令和4年度 芳川地区社会福祉協議会の活動

芳川地区社会福祉協議会の活動については、あまりご存じない方もおられることと思います。

当協議会は、芳川地区内の各団体で選出された委員で組織し、運営しています。

主な活動内容は、地域福祉促進、高齢者事業、地域づくり推進等の活動を行っている団体に助成金を交付するといった支援活動を行っています。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、高齢者事業等が計

画できなかった、または中止とした団体もありました。そんな中でも、民生委員・児童委員の皆様は、10月、11月、2月に各回約230食のお弁当を、一人暮らし高齢者の方へお届けする「ふれあい配食」を実施されました。

特に、今年度は12月に民生委員・児童委員の改選があり、2月の配食は新しく委員になられた方々も担っていただきました。

さらに、配食を行った2

芳川地区健康づくりサポーターについて

芳川地区健康づくりサポーター 代表 野村 千恵子

この度、松本市民の健康増進を目標に約50年近く活動してきた松本市健康づくり推進員は、ある程度目標が達成されたとして、令和4年度末をもって市全体での活動を終了しました。

なお、健康づくりに関する活動の継続を希望する地区は、市が活動支援を行うていくことになりま

した。

そこで、芳川地区健康づくり推進員会は「芳川地区健康づくりサポーター」に名称を変更、メンバーは健康づくりに興味のある方を公募し、引き続き自身の健康知識に研鑽を積みながら、地域の皆さまに健康情報をお伝えする活動を行っていただくこととしました。

月10日は大雪が降った日で、皆さん大雪の中、お弁当のお届けに回っておられました。委員の皆様からは、高齢者の方々が待っていてくれると思うと張り合いがある、庭先の雪かきをして待っていてくれた方がおられた、お弁当をお届けできて良かったと感想をおっしゃられています。

コロナ禍で人と会うことを制限されていましたが、令和5年度は地域の皆さんが触れ合う機会が増えていくことを願います。

ふれあい健康教室や、町会の講座でも健康に関する啓発活動を行っていただきたいと考えています。芳川地区健康づくりサポーターは、今までのような期限付きの活動ではなく、ご自身やご家族の心身の健康に関心のある方、芳川地区の健康づくりに興味がある方でしたら、どなたでも参加でき、何年でも活動できます。少しでも気になった方は、ぜひお声がけください。

芳川地域づくり協議会 地域づくり学習会開催

令和5年2月11日、3年ぶりに芳川地域づくり学習会を開催することができました。開催日前日は大雪で、開催が危ぶまれましたが、当日は道路状況も回復し、大勢の方にお越しいただきました。

今年度の学習会は、住み慣れた地域で、いきいきと暮らし続けていくために「話し合ってみませんか？芳川地区の現在、未来」をテーマに「地域ケア会議」と「グループ研修」を企画いたしました。

学習会前半に行われた地域ケア会議では、講師に松本市医師会、医療・介護コーディネーターの岡村律子さんをお迎えし、「人生会議を開きましょ

う」と題してご講演いただきました。

いのちの終わりについて話し合うことを「人生会議」と言い、もしもの時の医療やケアについて自分の思いを文書に残しておくことを「リビングウィル（生前指示書）」と言います。

死を語ることは、タブー視されがちですが、参加された方の92%が講演の内容に満足され、人生会



議の大切さを知った、家族と話し合いたいといった感想

が寄せられました。

後半のグループ研修は、「避難所運営について考えてみましょう」「こどもの居場所づくり」「芳川の歴史、文化遺産、伝統を未来につなげよう」の3つのグループに分かれて話し合いが行われました。

いずれのグループも芳川地区の現状について考

芳川地域づくり協議会に思うこと

青少年育成部会

青少年育成部会長 鈴木 嗣

村井町町会長を2年間担当させていただき、あわせて、芳川地域づくり協議会のメンバーとしても参画させていただきました。

地域づくり協議会の活動のあるべき姿について、少し思いを書いてみました。

地域づくり協議会の活動として、イベントの開催等により、地域の皆さんに集まっていたいただきコミュニケーションの場を提供する、いわゆるイベント開催方式の活動は重要であり、「出張体操講座」や「楽笑

レクゲームの集い」の開催等により、その観点での効果は十分あったかと思えます。

その一方で、これらの事業はどうしても貢献範囲が参加者に限られることもあるため、こうした事業に加えて、芳川地域全体をテーマとする何らかの活動も必要かと思えます。理想的には、関係機関の皆さんと一緒に地域課題の抽出・共有と、それにより解決すべきテーマの設定とそ

える機会となり、早急に取り組みたいことや、継続して取り組むべきことなど活発な意見が出されました。

れへの取り組みを行うことがベストです。その二つの方法としては、令和3年度に芳川地域づくり協議会が行ったアンケートを材料に、地域課題の抽出とそれへの対応もあいかと思えます。青少年育成部会では、令和4年度に、部会の皆さんと一緒にこの方法をトライしよう



安全部会 芳川の避難所運営を考える

安全部会長 田中 千俊

芳川地域づくり学習会にて避難所運営について参加者の意見を聞きまし

た。 発災時の車中泊、町会未加入者への対応、指定避難所への避難、島内の防災物資ターミナルと芳川の備蓄、ペット同伴避難、要援護者優先避難所(芳川公民館)等をキーワードとして議論しました。

意見を伺う中で、要援護者優先避難所の開設については、早急に具体的な運営を考える必要があること、芳川公園、南部屋内運動場の活用や、芳川公民館の備蓄倉庫整備は、具体化するために検討を要すると認識されました。

令和5年度は、今回の学習会で出された課題、意見をともに、皆さんと一緒に深掘をしていく事としました。



福祉ひろばに幼児用木製玩具を提供しました！

芳川地区福祉ひろばは、小さなお子さんも遊びに来てくれています。地域の宝であるお子さんたちと、保護者の皆さんが、福祉ひろばでゆったりと楽しい時間を

過ごしていただきたいと、幼児用木製玩具を提供しました。ぜひ、新しいおもちゃで楽しく遊んでください！

芳川地区内指定避難所に簡易トイレセットを備蓄しました！

災害が起こった時、まず最初に「トイレ」が問題になります。トイレが不衛生、もしくは使えないといった状況になると、できるだけトイレに行かずに済むよう水分摂取を控えてしまい、脱水症状やエコノミークラス症候群など健康被害に繋がってしまいます。



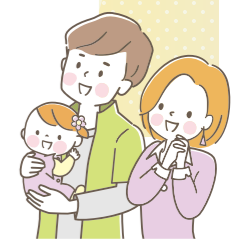
災害時のトイレの備えを怠ると、命、尊厳にかかわります。そこで、芳川地区の各指定避難所に「簡易トイレセット」を購入し備蓄しました。

松本市村井多世代交流型子育て支援施設 イオンタウン松本村井店内に開設準備中！

令和5年7月に、イオンタウン松本村井店2階に、こどもプラザと芳川地区福祉ひろばの複合施設がオープンします。

子育て世代から高齢者まで、幅広い世代が交流できる、みんなの憩いの場が生まれる場として、福祉ひろばは、身近な地域で「つながり」や「笑顔」を行います。

●こどもプラザ…乳幼児と保護者が集い、情報交換や育児相談、育児講座を行います。 芳川地区2館目福祉ひろばのオープンを、どうぞお楽しみに！！



芳川地域づくり協議会 臨時総会開催

令和5年1月20日、芳川地域づくり協議会臨時総会(書面表決)が開催され、当協議会の規約改正が決定しました。

平成27年6月に発足した当協議会では、地区住民が安心して、いきいきと暮らせる住みよい地域社会を構築することを目的として、各種団体、組織がその枠を超えて必要な事項を協議し事業を行ってきました。

令和5年度は、今回の学習会で出された課題、意見をともに、皆さんと一緒に深掘をしていく事としました。

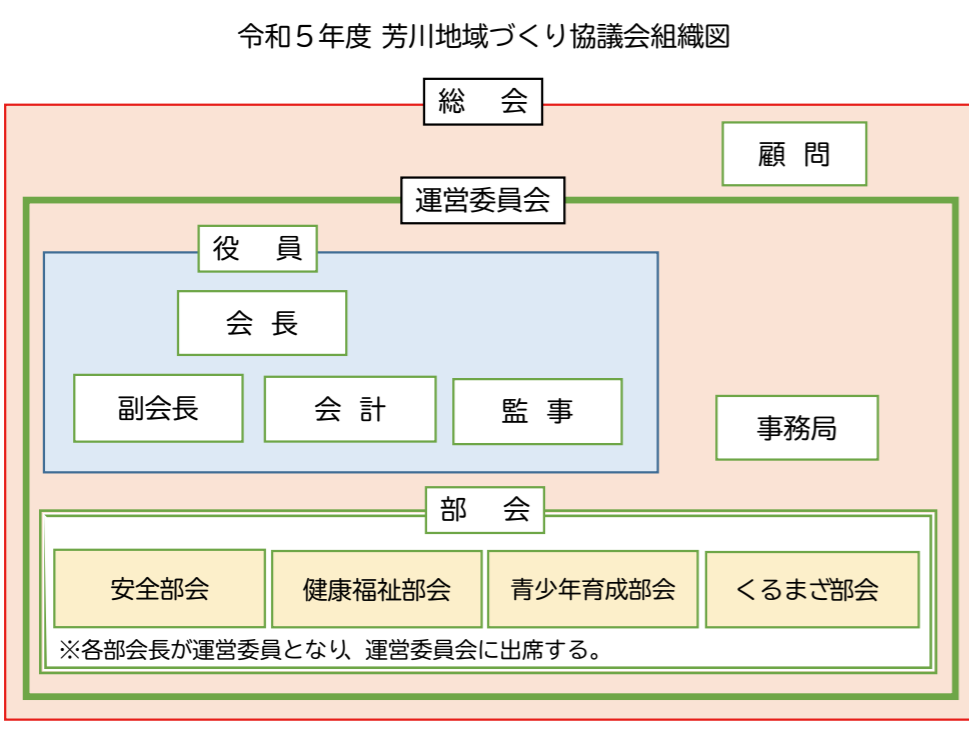
また、令和4年度は、簡易トイレセット(1箱500回分)を指定避難所4か所に1箱ずつ配備することを、当協議会運営委員会に提案し了承されました。

なお、要援護者優先避難所へは、松本市社会福祉協議会特別助成金を活用し芳川地区社会福祉協議会から、同内容の簡易トイレセットを購入いただきました。



証や、これからの芳川地区にとって必要なことなどについて協議を重ねました。その中で、安全部会は構成する団体の連携を強化し、有事の際に混乱を防ぐことを目指す、健康福祉部会は必要な事業は継続実施しつつ、事業の内容や開始時期を見直し、住民の福祉や健康増進を目指す、青少年育成部会は、こどもや保護者を支援する以外にも、関係する団体が情報や、課題を共有することのできる場

Table with 5 columns: 議案, 賛成, 反対, 無効. Row 1: 第1号議案, 芳川地域づくり協議会規約改正, 43, 0, 0. Includes text: 令和4年度 芳川地域づくり協議会臨時総会表決結果



にするという方向性が提案されました。また、目的達成のための事業を、構成する団体

が個々に取り組んでいる環境部会、地域振興・歴史文化部会については、名称を「くるまぎ部会」に変更することや、今後各団体から出される課題を協議しやすくしたいと

といったことが話し合われました。これら、各部会の協議をもとに開催された臨時総会では、主に部会の見直しと、各部会の構成及び担当委員を柔軟に追加することができるよう細則を定めることを議案として提示し、会員の過半数以上の賛同をいただき可決されました。

なお、改正後の芳川地域づくり協議会規約は令和5年4月1日から施行し、細則は次回開催される総会において報告いたします。